

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料4

協議会名： 御宿町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社 小湊鉄道	町内全域をカバーする乗合運行(デマンド型)を地域内フィーダー系統確保維持事業として、平成26年10月1日から実施。これは、ルートを定めず、運行エリア内を乗合で移動するもので、事前予約型・町内全域乗合タクシーとして運行している。	利用者のニーズに基づき、共通乗降場所を町内1か所追加し、利用促進に取り組んだ。(12→13か所)	A (事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された)	C (事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった) ※目標14人/日→13.3人 総数4,828人→4,789人 ▲39人 ※収入1,416,200円→1,330,900円▲85,300円	事業実施の適切性では計画どおり実施できており、引き続き実施したい。目標・効果達成状況では、計画を下回った。町では、数値目標を設定する際、毎年新たに利用者が増え、利用者総数は増加するとしていた。しかし、利用者の状況をみると同じ利用者が多く安定している。新たな利用者は障害者や子どもが多くなっている。よって、利用者の総数はある程度一定で推移しつつも運賃収入は減の傾向が強まると予測されるので、適切な目標設定(変更)について検討する必要がある。 高齢者や障害者、子どもの利用が多くなる傾向があることを踏まえ、町では安全に乗降できるよう自動スライドドアや自動ステップ装置が搭載された車両への買い替えが必要になる。 エビアミー号の走行位置を利用者がわかる仕組みを取り入れ、待機している利用者の不安解消に取組み、利用者の利便性向上を図りたい。